

保護者説明会



自衛隊神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 明神忠雄3等海佐）は、6月16日（日）、募集対象者及びその保護者2組に対して「保護者説明会」を実施した。

説明会では、広報官から自衛隊の任務、職種等の概要説明を行い、教育期間中や部隊での勤務環境や生活環境についても説明した。日頃聞き慣れない自衛隊の内側の話をうなずきながら聞き、ときには驚いた表情を見せていた参加者は、自衛隊での実際の生活の様子が分かったことで、最後は安堵した表情となった。

また、陸海空の職種や具体的な職種、入隊までの流れなどの説明では、参加者から「陸上自衛隊の情報科や野戦特科という職種はどんなことをするのか」や、「防衛大学校と航空学生を受験させたいが」など、多くの質問が出されて大いに盛り上がり、予定時間があつという間に過ぎるほどだった。

今回、説明会が保護者の方に自衛隊を理解していただく良い機会となったことで、募集・広報における「機会・出会い」の重要性と広報官の職責をあらためて認識した一日となった。

厚木募集案内所は、「今後も自衛隊への理解を促進し、防衛基盤の確立を図るため、創意工夫を凝らした募集活動を実施していく」としている。

サバイバルゲーム会場に自衛隊現る



自衛隊神奈川地方協力本部相模原地域事務所（所長 新妻昌晋1等陸尉）は、6月22日（土）、サバイバルゲーム会場の「九龍戦闘市街区」（相模原市緑区）において募集広報を実施した。

このイベントは、サバイバルゲーム会場に自衛隊ブースを設置して自衛隊の装備品等を展示し、サバイバルゲームを趣味としている人たちに自衛隊を身近に感じてもらうとうと企画したもので、当日は約30名の方が参加してくれた。

自衛隊ブースでは、偵察用バイクや中型トラックなどを展示したほか背囊（はいのう）や迷彩服の試着体験を行い、写真撮影に行列ができるほどのにぎわいを見せた。

参加者たちは、「富士総合火力演習を見てみたい」、「実際に体験入隊してみたい」、「匍匐（ほふく）前進の練習をしたい」、「他の装備品も見てみたい。次回もコラボお願いします」などと自衛隊に興味を持ってくれた様子で、募集相談コーナーでは自衛隊の入隊制度の説明等を行い、熱心に質問をする参加者に広報官が丁寧に対応した。

相模原地域事務所は、「今後も、地域のイベントの場を活用して市民に密着した広報活動を行い、自衛隊の理解を更に求めるとともに、自衛官募集の成果につなげていきたい」としている。

